

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成16年9月2日(2004.9.2)

【公表番号】特表2000-508087(P2000-508087A)

【公表日】平成12年6月27日(2000.6.27)

【出願番号】特願平9-535229

【国際特許分類第7版】

G 02 B 5/124

【F I】

G 02 B 5/124

【手続補正書】

【提出日】平成15年7月29日(2003.7.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 手 続 補 正 書

平成15年7月29日

特許庁長官 今井康夫 殿

## 1. 事件の表示

平成9年特許願第535229号

## 2. 補正をする者

名称 ミネソタマイニング アンド マニュファクチャリング  
カンパニー

## 3. 代理人

住所 〒105-8423 東京都港区虎ノ門三丁目5番1号 虎ノ門37森ビル  
青和特許法律事務所 電話 03-5470-1900

氏名 弁理士(7751)石田 敬

## 4. 補正対象書類名

請求の範囲

## 5. 補正対象項目名

請求の範囲

## 6. 補正の内容

請求の範囲を別紙の通り補正する。

## 7. 添付書類の目録

請求の範囲

1通



方  
式  
審  
査



### 請求の範囲

1. a) 前面と背面とを有し；該前面を通って入射した光を再帰反射し；オーバレイフィルムと、該オーバレイフィルムに結合された実質的に独立した構造化要素の二次元配列と、シートの背面を形成しかつ該構造化要素の間で該オーバレイフィルムに結合されたシーリングフィルムとを含む超可撓性構造化再帰反射シートと、  
b) 該シーリングフィルム中の複数の窪みと、  
c) 該シーリングフィルム上に配置され、該シーリングフィルム中の窪みを少なくとも部分的に満たすシールコートと、  
を含んでなる再帰反射製品。
2. 前記シールコートが実質的に前記窪みを満たす請求項1記載の再帰反射製品。
3. 前記シールコートが反応性成分から調製される請求項1または2記載の再帰反射製品。
4. 前記シールコートが前記窪みのうちの少なくとも1つにおいて前記オーバレイフィルムと接触する請求項1～3のいずれか一項記載の再帰反射製品。
5. 前記シーリングフィルムが熱可塑性ポリマを含む請求項1～4のいずれか一項記載の再帰反射シート。
6. 前記シールコートが、熱硬化性成分または放射線硬化性成分を含むシールコートプレカーサから調製される請求項1～5のいずれか一項記載の再帰反射シート。
7. a) 前面と背面とを有し；該前面を通って入射した光を再帰反射し；オーバレイフィルムと、該オーバレイフィルムに結合された実質的に独立した構造化要素の二次元配列と、シートの背面を形成しかつ該構造化要素の間で該オーバレイフィルムに結合された少なくとも約20%の延性降伏を有するシーリングフィルムとを含む超可撓性構造化再帰反射シートと、  
b) 該シーリングフィルム中の複数の窪みと、  
c) 該シーリングフィルム上に配置され；該シーリングフィルム中の窪みを少なくとも部分的に満たし；更に、放射線硬化性成分を含むシールコートプレカー

サから調製されるシールコートと、  
を含んでなる請求項 1 記載の再帰反射製品。

8. 前記放射線硬化性成分が遊離基硬化性樹脂を含む請求項 7 記載の再帰反射シート。

9. 前記シールコートプレカーサが反応性希釈剤と皮膜形成剤とを含む請求項 7 記載の再帰反射シート。

10. 前記反応性希釈剤が単官能性または多官能性のアクリレートモノマを含む請求項 9 記載の再帰反射シート。

11. 前記皮膜形成剤が単官能性または多官能性のアクリレートオリゴマを含む請求項 9 または 10 記載の再帰反射シート。

12. a) 前面と背面とを有し；該前面を通って入射した光を再帰反射し；オーバレイフィルムと、該オーバレイフィルムに結合された実質的に独立した構造化要素の二次元配列と、シートの背面を形成しつつ該構造化要素の間で該オーバレイフィルムに結合されたシーリングフィルムと、該シーリングフィルム中の複数の窪みとを含む超可撓性構造化再帰反射シートを提供する工程と、

b) 該シーリングフィルム中の窪みを少なくとも部分的にシールコートプレカーサで満たす工程と、

c) 該シールコートプレカーサを固化させる工程と、  
を含む請求項 1 記載の再帰反射シートの製造方法。